

労働の解放をめざす労働者党

略称:労働者党

参議院大阪選挙区予定候補

【連絡先】佐々木一郎事務所

〒578-0961

東大阪市南鴻池町2-12-13

☎ 080-6151-1949

✉ 1867ssk16@jcom.zaq.ne.jp

を国会へ

佐々木一郎

信頼できる労働者・働く者の代表

佐々木さんを推薦します

私たち労働者党は、17年衆議院選挙において神奈川十一区で候補者を立てて闘いました。この時、大阪から応援に駆け付けた佐々木さんの奮闘ぶりを闘争委員は、次のように記録しています。

「佐々木さんは事前ビラ配布計画の中心を担い、綿密な配布計画を提供してくれた。夜遅くまで翌日のビラ配布計画を練り、配布者に手渡す住宅地図をコピーする姿に頭が下がった。現地でも宅配を指



導し、的確な指示のもとに配布が行われた。感心したのは短期間に横須賀、三浦市の地理に精通したことだ。車の助手席に座り的確に道案内をしてくれた。それは車のナビよりの確で、失礼ながらSナビと呼ばせて頂いた」と。

佐々木さんは40年以上前からマルクス主義労働者同盟（労働者党の前身）の一人でした。私のいろんな疑問に対し、率直に「労働者階級の解放のために活動する」よう勧誘されたことを覚えています。佐々木さんは同志会が党への復帰を決め、選挙闘争への再挑戦を始めた時、その荷の重さを知りながら組織の責任を引き受けました。さらには大阪選挙区の候補者も引き受けるなど、その心意気には頭が下がります。

佐々木さんが労働の解放をめざす闘いの先頭に立つことを確信しています。(N)

佐々木一郎の略歴

51年、大阪府大東市に生まれる。大東市立南小、住道中、大阪府立四条畷高、73年、北海道大学農学部林学科を卒業、大阪の建設会社で土木地質技術者として働く。

卒業間際にマルクスの『経済学・哲学草稿』の「労賃は資本家と労働者との敵対的な闘争を通じて決定される」を読み、階級闘争の現実の端緒を認識するが、社会に出て資本主義社会の実際を目の当たりにし、社会主義運動に携わるべくその接点を模索する。

74年、党の前身であるマル大同の参議院選挙運動と出会い、76年同盟に加入、以降、仕事と家庭と並立させながら、主に駅頭や団地、集会でのビラ配布による宣伝活動に携わる。2017年4月から大阪北支部支部長。定期的に駅頭で街頭宣伝を行っている。

した。しかし、彼らのポピュリズム政治は止まりません。再び大阪都構想を持ち出し、住民投票を行うとしています。しかし、「維新」は自らの政治基盤を固めようとしているにすぎません。大阪万博とカジノ開催で関西経済を盛り上げると言うが、自ら「倒産した会社」といった府の財政赤字は膨らむばかりです。

「維新」は公務員労働者に対して「倒産した会社の従業員」と言い、その労働運動に敵対しています。とりわけ教育労働者に対しては、府独自の「国旗国歌条例」を制定し、卒・入学式で不起立チェックや口パク監視を行い、減給や再任用を拒否する弾圧を加えています。他方、子どもたちには愛国主義を刷り込んでいます。

森友問題では権力の私物化が明らかにになりました。幼稚園児に教育勅語を

唱和させていた森友学園が「瑞穂の国記念小学校」を設立するのに、近畿財務局は国有地を8億円も値引きし、松井大阪府政は足並みをそろえ私学認可を行いました。

大学に入った年は全共闘運動の全盛期で、そんな学生運動には共鳴できませんでした。が、卒業する時は、社会改革のために何をすべきかと考えました。就職した会社は、受注を伸ばせ利益を上げろ、長時間労働、

休日出勤は当たり前、企業で、私は資本主義的現実のただ中に入りました。

労働者党の前身であるマルクス主義労働者同盟を知ったのは、党が初めて選挙闘争を始めた1974年参議院選挙です。電柱に並ぶ「労働者の代表を国会へ」のステッカー

深刻な経済危機は大阪も例外ではありません。不景気で会社が倒産し失業して非正規で働かざるを得ない人が増えています。「維新」も賛成して成立した入管法の「改正」は、国

は鮮烈でした。駅前で配られたビラを見て森ノ宮であった集会に行きました。そこに掲げられていた「幻想と偽善の民主連合（国民連合）政府反対」は、それまでの私の観念を打ち破るものでした。当時

次々に革新自治体が誕生し、社会党や共産党の連合政権が自民党政府に代わるという雰囲気があったからです。

同盟が主催する学習会に私は参加し、初めてマルクス、エンゲルス、レーニンの社会主義古典を学びました。私が

内だけでなく海外の労働者にも劣悪な労働条件を強いるものです。みなさん、私たち、労働の解放をめざす労働者党と共に働く者の政治をつくりましょう。

認識する社会の現実から考えて社会主義思想は正しいし、それに基づく労働者独自の社会変革の運動が必要であると考えるようになりました。私は勇気を鼓して同盟に加入しました。それ以来、主に党の宣伝活動に携わって

佐々木一郎の決意

私たちの党は、45年前に国政選挙に参

大阪から労働者の代表を国会へ！

加しましたが、社会主義政党の国会闘争が革命運動の重要な中心軸の一つであると考えるべきだと思います。非常に困難な闘いですが、この闘いを避けることはできないと考えます。労働者・働く者のために闘う決意です。